

戦争を知る

7月18日の平和学習（映画鑑賞）に向けて、各クラスで沖縄戦について学びました。沖縄と聞いて、おそらくみなさんが真っ先に思いつくのは「観光地としての沖縄」だと思います。青い空、きれいな海、あったかい人々……。でも、その沖縄で、約70年前いったいどんなことがあったのか、どれぐらいの人がしていたのでしょうか？

沖縄では日本の中で唯一地上戦が行われ、多くの民間人が犠牲になりました。たった2ヶ月の間に、当時の沖縄に住んでいた4人に1人が亡くなりました。みんなとほとんど年の変わらない子どもたちが戦地に向かわされることもありました。生き残るために他を犠牲にするしかなかった人たちもいました。手記にもあったように「人が人じゃなくなる」のが戦争の実態なのです。

授業の中で気持ちがしんどくなることがあったかもしれません。だけど、あの時、世界で、日本で、沖縄で、何が起こっていたのかを正しく知ることが、平和や未来について考える第一歩になるのです。二中では沖縄戦に関する映画をみますし、7月8月はテレビでも戦争や平和を題材にしたものが増えていきます。いままで意識したことがなかった人たちも、しっかり学んで、考えてほしいと思います。

みんなの感想より

- ・多くの死者がでるだけで、戦争は何の特にもならない。損ばかりだと思う。戦争中にけがをしている人の中に「早く死にたい」と言っている人がいたと聞いて、それだけ戦争はつらかったのだろうと思った。
- ・死にたくないのに死んでしまった人がたくさんいたから、自分の命を大切にしないといけないと思った。戦争をなくすことのできるのは人間(自分たち)だし、戦争をするのも人間だから、戦争がなくなるように努力したい。
- ・沖縄で戦争があったことを知らなかった。一つの爆弾でたくさんの人が亡くなるので、もう戦争は起きてほしくないと思う。今も海外ではミサイルを発射したとか言われてて、その爆弾でまたいっぱい人が亡くなるのはいやだ。どうでもいいことじゃないと思った。
- ・今私たちが当たり前で生活できていることは、とても幸せなことなんだと改めて思った。人ごとにはせずに、私たちが生まれる前の人たちがどんな体験をしたのか、今がある前にどんな苦しい事があったのかをもっと知っていかなければならないと思った。

・戦争はダメだとわかっているのに戦争を起こす理由がわからない。こわいもの、と言えば幽霊とかだと思っていたけど、一番怖いのは人間だと思った。

・「捕まるぐらいなら自分で命をたちなさい」という教を信じている人が、実際にそのように命を失うと聞いて悲しくなった。戦争は一般の人まで巻き込んでしまうので、やってはいけないと思ったし、命を大事にしようと思った。

・戦争をしていた時は笑顔になれることなんて一つもないんだと思った。今の日本は食べ物も水も家も全てがそろっているから平和でよかったとおもう。いつかどの国も戦争をやめて平和な世界になればいい。

・アメリカ軍が沖縄の人に直接火などで攻撃して、アメリカ軍はどういう気持ちでやったんだろう。沖縄の人たちがたくさんなくなって、何も言葉に表せないくらい心が痛かった。

・日本軍も同じくらいひどいことをしていたんだと考えた。もし、自分が戦争をしていた時代に生まれていたら、自分は恐怖で精神が持たないと思う。自分たちが今生きているのはとても幸せだと思った。

・戦争という手段は間違っていると思った。それは日々の生活でも考えないといけないことだと思う。昔の失敗があったから今の日本があるのだと思った。

・今の自分たちが怖いと考えるような出来事に慣れてしまっていることがすごく悲しいと思った。人が死ぬのが当たり前になってしまうのが一番怖いと思った。平和というのはすごく大事なことなんだと改めて実感できた授業だった



沖縄平和祈念資料館と平和の礎(いじ)



平和の広場にある「平和の火」

最初の上陸地である座間味村阿嘉島において採取した火と、被爆地広島市の「平和の灯」、長崎市の「誓いの火」から分けていただいた火を合火し、1991年から灯しつづけていたもの。1995年にこの公園に移された。

・沖縄で米軍を止めようとするなら、早く負けを認めていけばこんな事にはならなかったのと思った。今までは「戦争」＝「太平洋戦争」＝「日本」＝「原爆」＝「広島・長崎」というイメージが強かったが、こうして地上戦で亡くなった人も多くいることが分かった。

・もうすぐしたら平和学習がはじまるけど、事前に戦争のことを知っておくだけで見方が変わるし、日本人として知っておかないといけなから、今日授業が出来て良かったと思う。戦争はすごく怖いものだから、戦争をしらないということはもっと怖いことだし、戦争のことを知って、亡くなっていった人たちがどんなに辛かったのかももっと知らないといけなと思った。

・昔の苦しい現実があるから、今があるのだとは思いますが、私は戦争をするのは間違いだと思う。今後は絶対戦争などすべきではないと思うし、今の平和な日常を守るべきだと思う。もし、また戦争が起きたならそれを止める努力も必要だと思うし、止める人がいれば良いと思う。

・小さい子の写真を見て、自分の事を思い出すと、あの子達よりも太っていたし、服も着ていたし、家族もいたし、あの子達はすごくかわいそうだと思った。今、食べ物も食べられて、家族もいて、学校に行けることに感謝しないといけなと思った。沖縄の人の命も同じ尊い命なのに、「沖縄で時間稼ぎをしよう」と思っていた人たちが本当に許せない。

・二度と戦争を起こしてはいけないと思った。前に3年生に折り鶴を頼まれた時、思いを込めずに折っていたけど、今日話を聞いて次は気持ちを込めて折ろうと思った。

・今まで幸せに暮らしていた人たちの人生が大きくねじ曲げられたと思った。人は国のものではないからそんな軽く命を扱わないでほしい。国で偉い人が戦争するかを決めるなら、なおさら間違った道に進んではいけないと思う。

・いつ、どこで、どうして戦争が始まったのか、もっと戦争について知ろうと思いました。これから、平和な日々を過ごせるように暮らしたいと思います。

・このようなことが沖縄ではなく本州で起こったらどれだけの人が苦しむことになるか、まだ沖縄で止めたと思うのではなく、沖縄でやらしてしまった、とおかかないとまたこのようなことが起こったら自分が後悔すると思った

・70年たった今でも不発弾で亡くなっている人がいることに驚いた。これからは、戦争を体験した人も寿命などで亡くなり、体験者がいなくなってしまうが、そんなときに「どうやって伝えるか、または伝えられるのか」と考えた。

